

平成 16 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸正実
(コード番号 9878 東証第 2 部)
問合せ先 取締役経営戦略室長 江崎 武
(TEL . 0426 - 43 - 6845)

地区再構築の実施とそれに伴う業績予想の修正並びに配当修正に関するお知らせ

[1] 地区再構築の実施について

当社商業集積地（以下、地区と呼ぶ）再構築の実施とそれに伴う業績予想の修正並びに配当修正等を以下にお知らせします。

当社は、家電事業、ファッション事業、スポーツ・カー事業、ホームセンター事業の 4 事業により店舗展開を行ってまいりましたが、近年、市場環境の変化への対応の遅れと当社を取巻く競合関係の激化などにより、ホームセンター事業及びスポーツ・カー事業の赤字幅が増大し、事業全体の営業損益を圧迫する状況となってまいりました。この間、当社といたしましては、当該事業を中心としたこれら不採算部門の商品政策の見直しや改善を推進してまいりましたが、赤字の解消が図れないと判断し、当期においてホームセンター事業及びスポーツ・カー事業が集中している地区の抜本的な対策を実施することに決定いたしました。

具体的には、当期において、既に決定されている赤まる市場地区（群馬県高崎市）の不採算部門の撤退に加え、ホームセンター事業及びスポーツ・カー事業が集中している高倉及び野猿（共に東京都八王子市）の両地区において、ホームセンター事業からの完全撤退及びスポーツ・カー事業を中心に不採算部門の閉鎖を基本とした地区再構築を実施いたします。なお、事業からの撤退及び閉鎖後につきましては、物件の返却及び当社からのサブリースによるテナントの誘致を実施し、両地区の活性化とともに収益の改善を図ります。

上記の地区再構築を実施することにより、平成 17 年 2 月期に懸案の不採算店舗、不採算部門に一定の目途をつけ、平成 18 年 2 月期以降におきましては、ファッション事業及び家電事業を中心に事業を展開するものとし、資金の投下及び人材の再配置を行い、また、ホームセンター事業からの撤退及び不採算部門の閉鎖に伴う間接費を中心とした販売管理費の削減を行い、安定的な収益の確保を目指す所存であります。

[2] 業績予想の修正について

1 . 平成 17 年 2 月期中間期の業績予想の修正

平成 17 年 2 月期中間期業績予想の修正（平成 16 年 2 月 21 日 ～ 平成 16 年 8 月 20 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	24,300	290	350
今 回 修 正 予 想 (B)	22,037	187	578
増 減 額 (B - A)	2,263	103	228
増 減 率 (%)	9.3	——	——
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 8 月中間期)	22,450	411	440

(金額の単位：百万円)

修正の理由

当中間期は、売上高は前回予想を下回ることとなりましたが、経常利益は、人件費及び家電部門の物流業務を外部委託したことによる販売管理費の削減により前回予想より改善されました。しかしながら、当期純利益においては、上述のとおり、地区再構築を実施することにより、高倉地区及び野猿地区の不採算部門の撤退費用を中心に 363 百万円の特別損失を中間期に引当計上することとしたため前回予想を下回ることとなりました。

2. 平成 17 年 2 月期（通期）の業績予想の修正

平成 17 年 2 月期通期業績予想の修正（平成 16 年 2 月 21 日 ～ 平成 17 年 2 月 20 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	49,800	250	380
今回修正予想（B）	45,900	540	950
増減額（B - A）	3,900	790	1,330
増減率（%）	7.8	———	———
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 2 月期）	47,948	444	2,115

（金額の単位：百万円）

修正の理由

上述のとおり、売上高は、地区再構築を実施することにより前回発表予想を 3,900 百万円下回る見込みであります。経常利益においても、ホームセンター事業からの完全撤退、不採算部門の閉鎖に伴う在庫処分による営業損失等を計上するため前回予想を下回る見込みであります。その結果、通期における当期純利益においても前回予想を下回る見込みであります。

[3] 平成 17 年 2 月期配当修正について

上述のとおり、平成 17 年 2 月期におきまして大幅な経常損失及び当期純損失を計上する見込みであることと地区再構築を中心としたリストラの最中であり、誠に遺憾ではございますが、平成 17 年 2 月期末に予定しておりました 1 株当たり配当金 3 円につきましては見送りとさせていただきます。

本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上